

2020年9月11日
日本原子力研究開発機構
敦賀廃止措置実証本部
安全・品質保証室

敦賀地区発災時の機構対策本部体制の見直しについて 新型転換炉原型炉ふげん 総合防災訓練に係る5週間前面談

1. 敦賀地区発災時の機構対策本部体制の見直しについて

平成30年度4月に本部組織として敦賀廃止措置実証本部が設置され、敦賀地区の業務を統括的に実施していくこととなった。

そこで、緊急時対応としては、現在、機構対策本部で実施している即応センターの機能の一部、具体的にはERC対応を敦賀対策本部に移し、機構対策本部と敦賀対策本部を一体化して即応センターとする。

2. 新型転換炉原型炉ふげん 総合防災訓練に係る5週間前面談

令和2年10月13日に新型転換炉原型炉ふげん総合防災訓練を実施する。

本訓練では、機構で作成した中期計画に基づき、訓練目標と訓練項目を設定し、新型転換炉原型炉ふげんにおいてEAL事象の発生を想定し、国、自治体等へ正確に情報提供等を行えるよう対応体制の強化を図るとともに、前年度から改善を図った事項の有効性、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した対応を確認する。

以上